

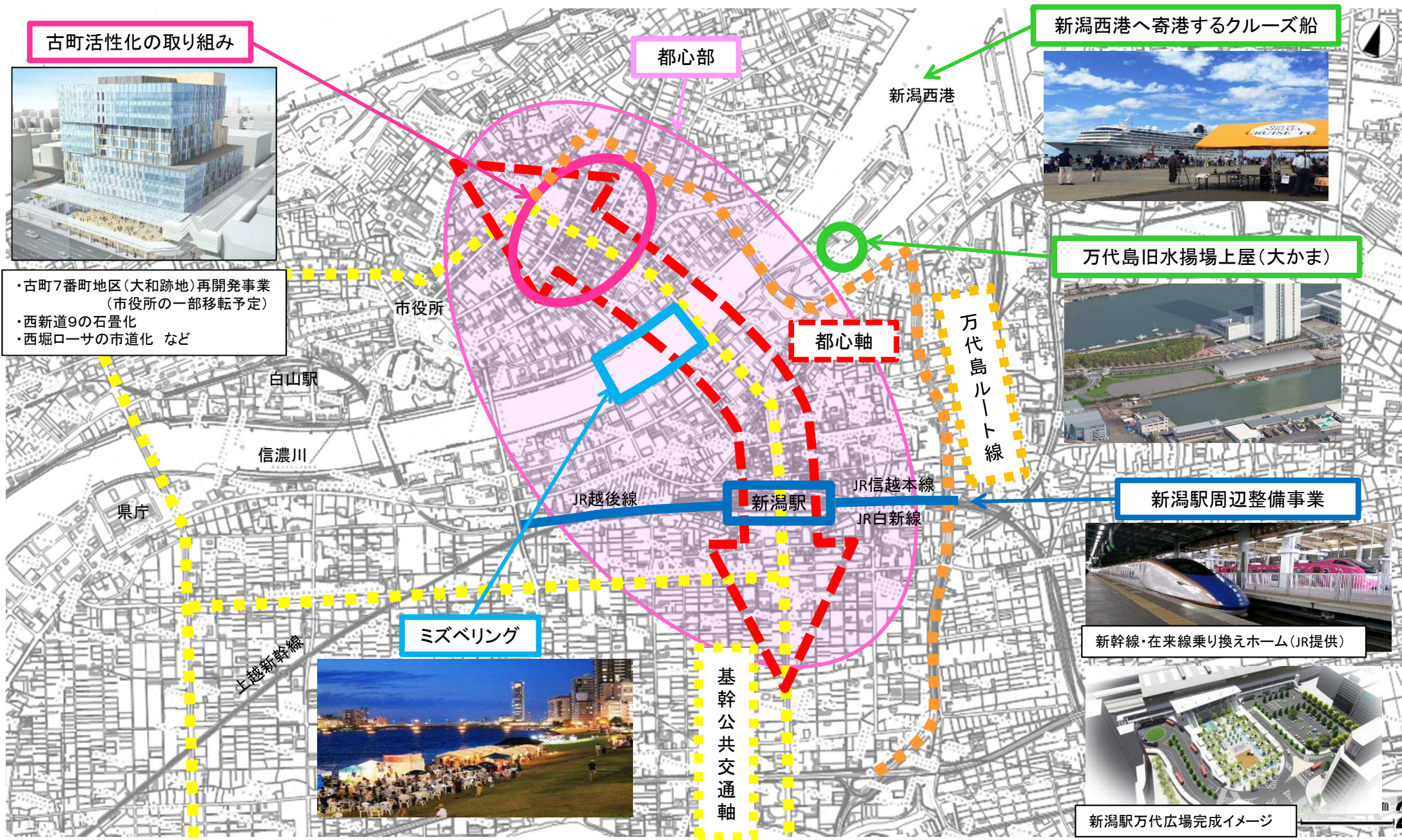
第 1 回 新潟駅交通結節機能強化検討委員会

－これまでの取り組み－

令和元年7月8日(月) 午前10時～
新潟市役所本館6階 第3委員会室

新潟駅交通結節機能強化検討委員会

1. 市内中心部における取り組み



新潟駅交通結節機能強化検討委員会

2-1. 新潟駅周辺整備のスケジュール

2009年度

南口広場脇
再開発完了

南口広場完成



2018. 4. 15

高架駅第一期開業・踏切除却



JR提供

2021年度頃

鉄道高架全線切替



2022年度頃

高架下交通広場完成



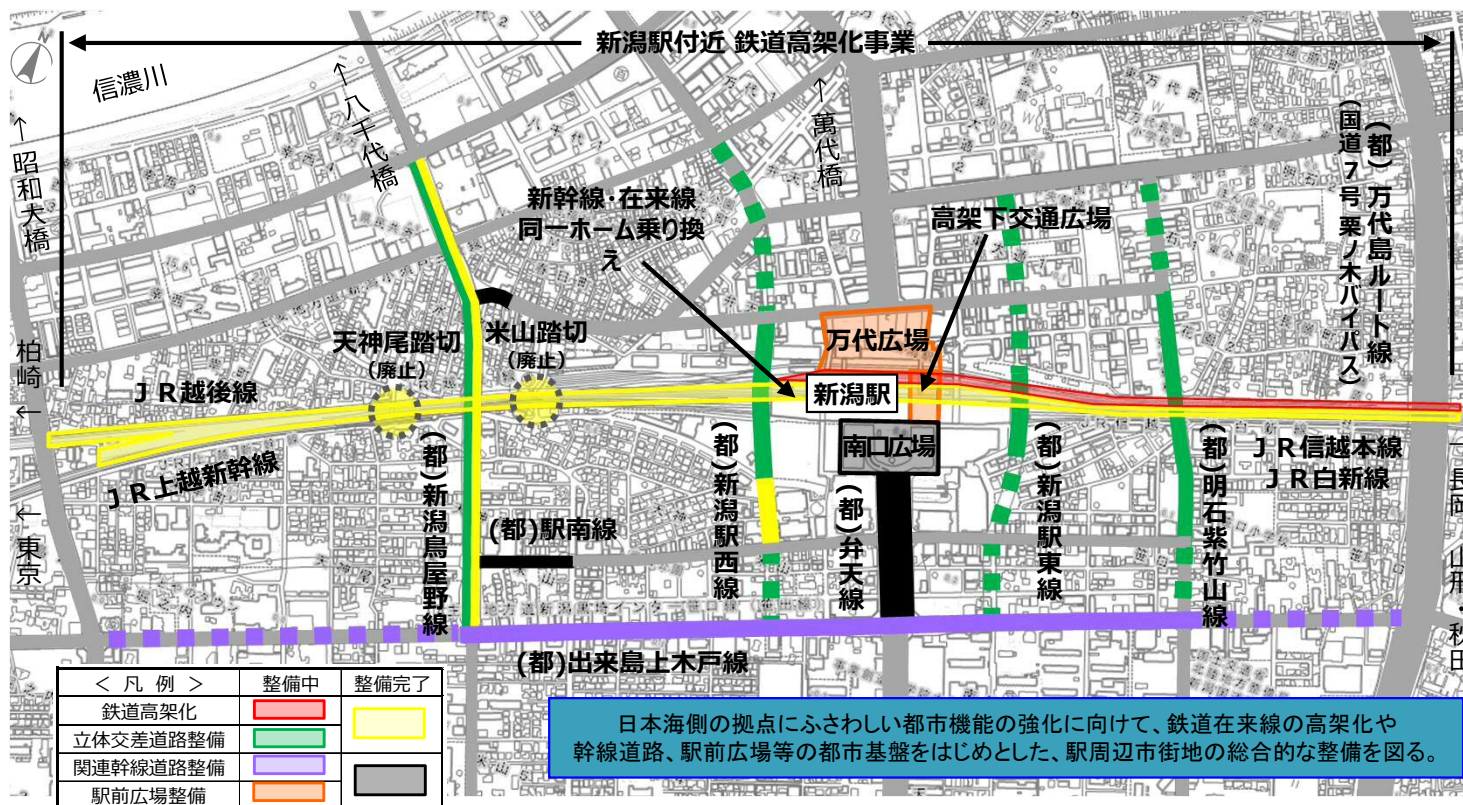
2023年度頃

万代広場完成



新潟駅交通結節機能強化検討委員会

2-2. 新潟駅周辺整備の概要



2018年4月 新潟駅 高架駅第一期開業

踏切除却による安全性と利便性の確保

東北日本海側との連携による日本海国土軸の強化

高架駅の様子



新潟駅は2018年4月に高架駅第一期開業を迎え、今後は**2021年度頃の全面開業**を目指して、高架化事業を推進

新幹線と在来線の「のりかえホーム」のイメージ



除却する前の米山踏切の様子



踏切除却により、踏切事故が無くなるとともに交通混雑の緩和が図られた。また、新幹線と在来線の「のりかえホーム」の供用により、乗り換えの利便性が向上した。

南北市街地の一体化

2019年度

新潟鳥屋野線のイメージ

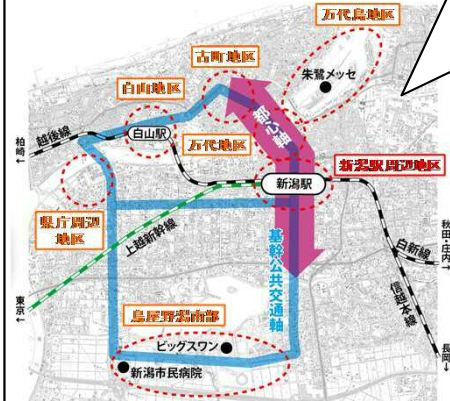


立体交差道路として、2019年度に新潟鳥屋野線を供用し、順次、その他の道路を整備することで南北市街地の一体化を進める。

公共交通結節機能の強化

2022年度頃

基幹公共交通軸の形成



高架化した駅直下にバスターミナルを整備することにより、鉄道とバスの乗り換え利便性が高まるとともに、駅南北を結ぶ基幹公共交通軸を形成。

高架下交通広場のイメージ



新潟駅の拠点性向上

2023年度頃

新たなにぎわいの創出

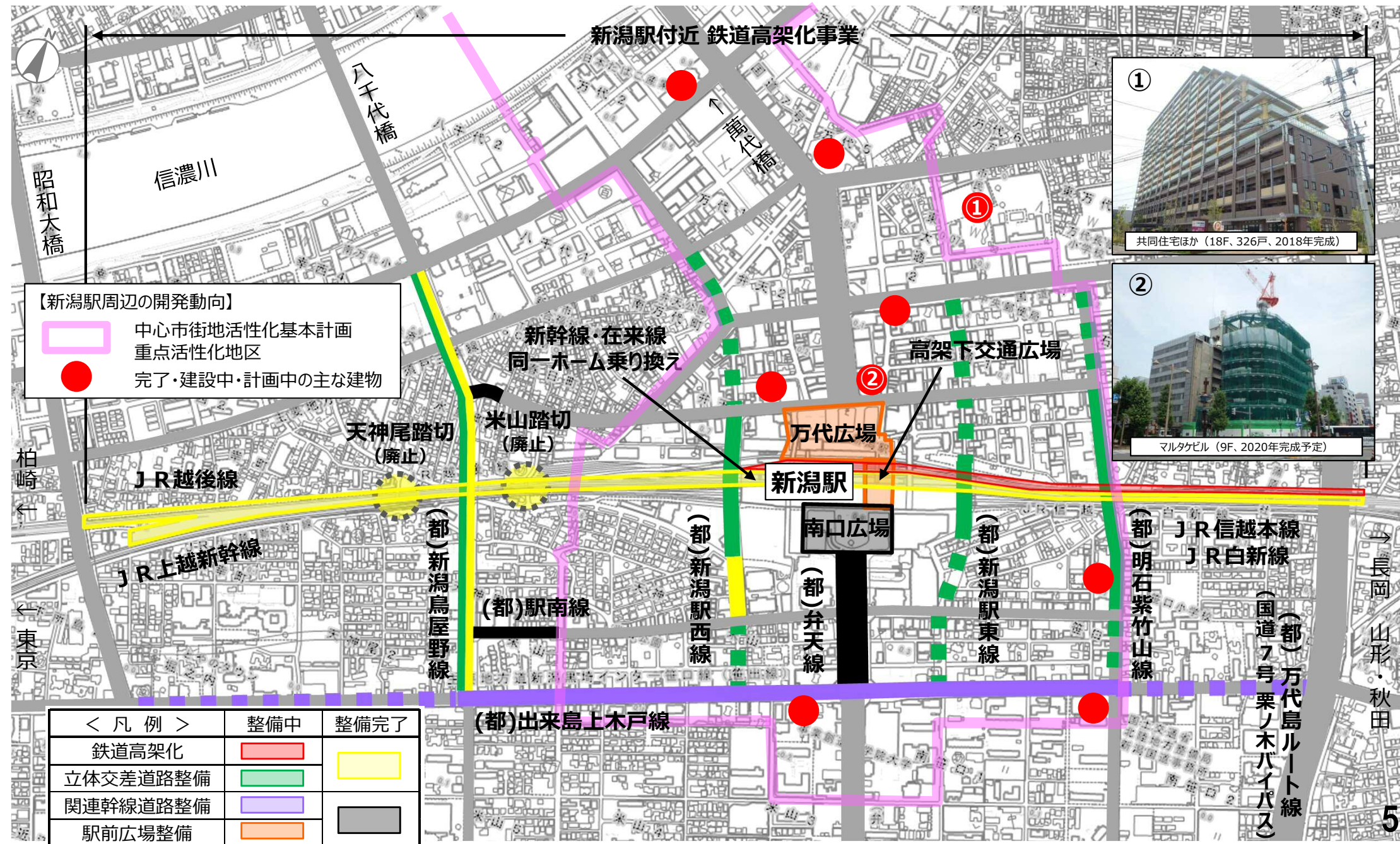
万代広場のイメージ



高架化事業と一体的に駅前広場を整備することにより、駅周辺の新たなにぎわいを創出するとともに、新潟駅の拠点化が進むことで民間投資の誘発にも期待。

新潟駅交通結節機能強化検討委員会

2-3. 新潟駅周辺整備と近年の開発動向



新潟駅交通結節機能強化検討委員会

3. 新潟駅周辺の自動車交通量

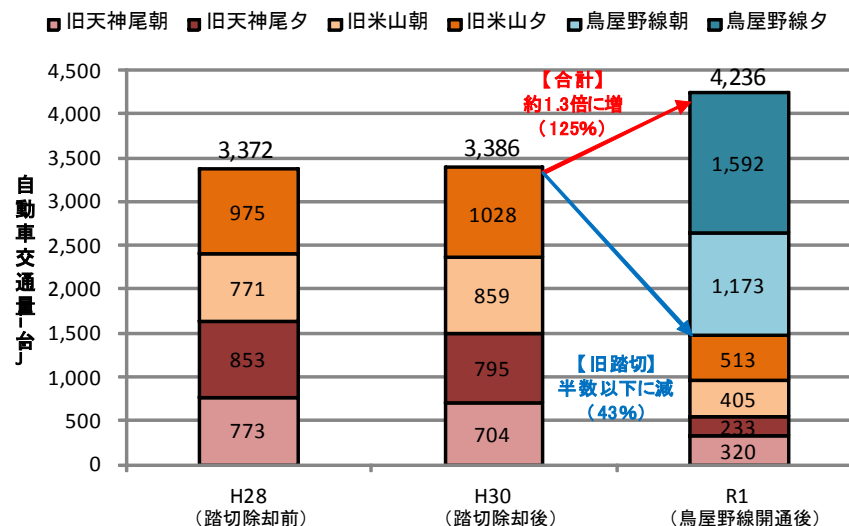
(1) 新潟鳥屋野線一部供用による交通量の変化

〔事業概要〕

- 事業区間 中央区八千代1丁目～中央区米山
- 延長 819m
- 幅員 30m (4車線・歩道・自転車道・植樹帯)
- 事業期間 2006年度～2019年度(予定)

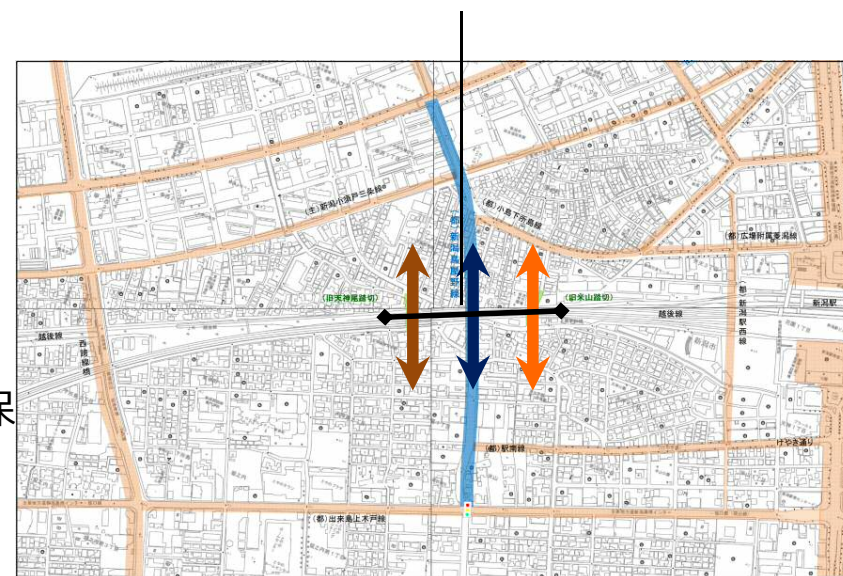
新潟鳥屋野線一部供用により、
南北交通量が**1.3倍**に増加

自動車(合計) 朝+夕4h交通量



【主な取り組み】

- ◎ 電線類の地中化
 - ・良好な景観形成
 - ・都市防災の向上
- ◎ 自転車道の整備
 - ・自転車や歩行者の安全性、利便性の確保

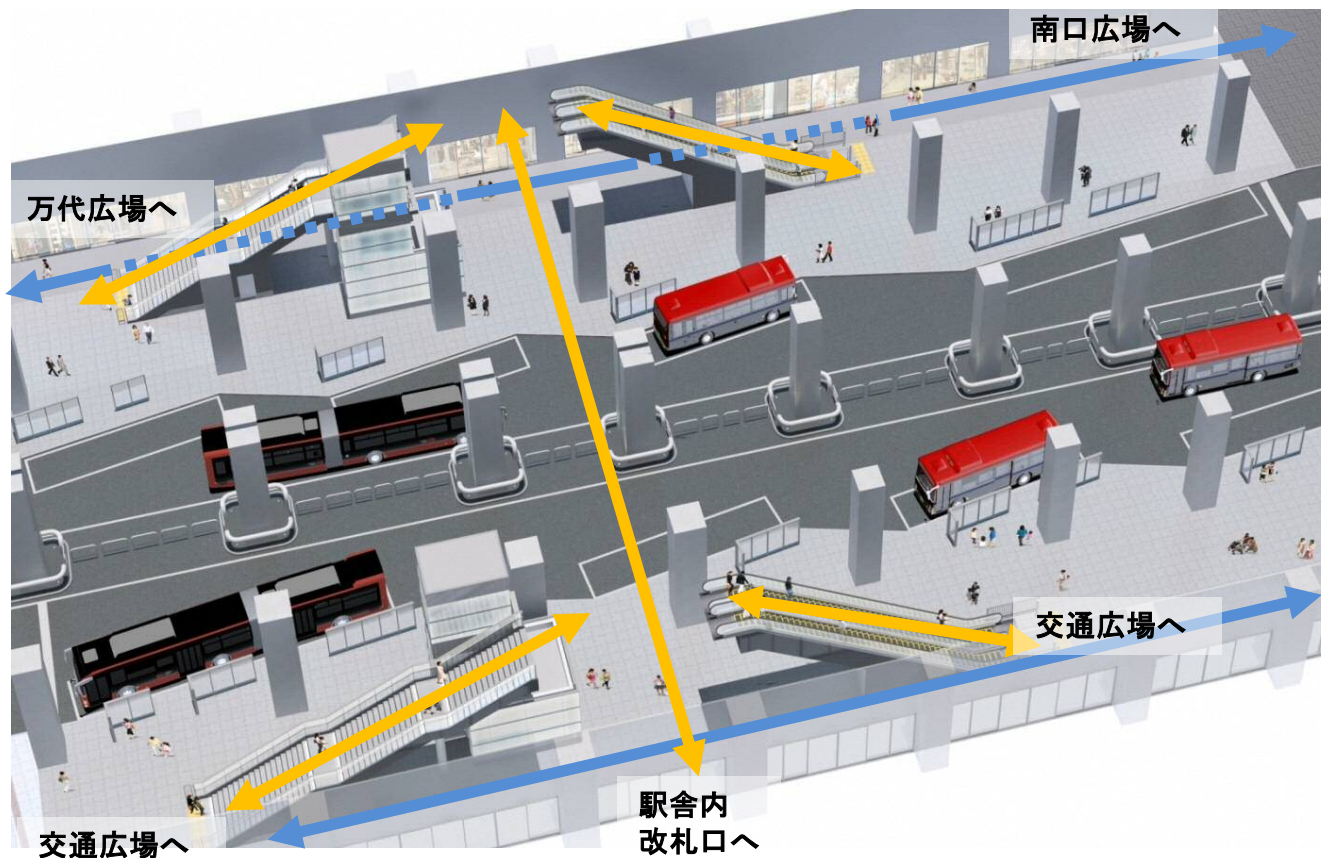


自動車 朝+夕4h(7:00～9:00, 17:00～19:00)交通量 **6**



整備イメージ

4. 高架下交通広場



バス乗降場全体イメージ

新潟駅2階の鉄道改札口とバス乗降場は1本の動線で結ばれます

新潟駅の南北横断

24時間地平レベルでの南北横断が可能になります



バス乗降空間イメージ

高架下のバス乗降場は天候に左右されないバス待ち環境



5. 万代広場



万代広場の整備イメージ

6. 万代島ルート線



都市計画道路
万代島ルート線